

本文をご覧になりたい方は「無料配信」をお申し込み下さい。

# CPA通信

2008年7月

Vol.50

## “感情”に響きがちな情報に 冷静なマネジメント視点で対応する

### 本レポートの内容◆

- 【1】“人気週刊誌”報道で再燃した退職金課税問題
- 【2】税制改訂を“判断”するマネジメント視点とは？
- 【3】“事実”を的確にとらえることが何より大事！
- 【4】“目的”確認と“総合検討”が重要になる背景
- 【5】“総合検討”って例えばどんなことなのか…？

課税額が増える話には、確かに不快感を超えるものがある。特に昨今の“国の財政問題”には、言うべきことも少なくない。  
しかしそれは“外的条件”であって、経営には“冷静に変化に対応する”ために“自分はどうするか”という内的視点が必要になる。  
そんなマネジメントの内的視点を、いかにして持つか…、そう考えると3つの視点があられる。

発行



経営改善に取り組みませんか。

**島田公認会計士・税理士事務所**

〒923-0938 石川県小松市芦田町2丁目12番地

TEL 0761-22-0043 FAX 0761-21-0243

e-mail info@ss-cpa.jp

URL <http://www.ss-cpa.jp/>